

月例会ダイジェスト【112】

7月の月例会は「開始後10年を迎えるストレスチェック制度（第2回）～職場環境改善の具体的方法と成果の持続性について～」と題し、ハイブリッドで開催。コーディネーターは、厚美直孝氏（日野自動車㈱）、楠本真理氏（三井化学㈱）、瀧澤まゆみ氏と帰山晶子氏（両、日野自動車㈱）の4名が担当した。

冒頭に厚美氏が2024年5月月例会「ストレスチェック10年目～集団分析の現状と課題～集団分析および職場改善の方法とその効果判定はどうすればよいか！」を振り返り、80項目版の集団分析結果からわかつてきたのは、業種を問わず、仕事の意義や役割の明確さ、成長の機会等、「作業レベル」の向上が職場改善のキーファクターであることだと述べた。続編となる今回はストレスチェック集団分析をふまえた職場環境改善の実践編として4名の演者がそれぞれの取組みを紹介した。

最初に登壇した臨床心理士の森脇正弘氏（JR東海）は同社が実践する「健康いきいき職場づくり」を紹介した。「安全安定輸送を社員の健康面から支える」という考え方のもと、健康診断を自社で行い、産業保健職を数多く配置するなど社員の心身の健康を重視している。社員の健康増進対策の一環として各職場にウェルネスリーダーを配置し年に一回必ずアクションプランを立て、取り組む仕組みを紹介した。さらに、社内で実施した社員参加型の職場環境改善ワークショップについて述べ、最初に「職場の強み」を探すことから始めてことで社員が前向きに話し合いに参加でき、1年後には事業所のストレス度改善の成果につながったという。対策の内容以上に、改善のプロセスや管理職によるリーダーシップが重要であると強調した。また、職場環境改善施策推進のためには準備が何よりも重要で、所属長に事前ヒアリングを行い、「明確な問題・高いストレス反応の有無」などの職場の準備性を確認したうえで、状況によっては社員「参加型」以外の方法も有効であると述べた。

続いて登壇した宮本剛志氏（㈱メンタル・リンク）は「ストレスチェック後集団分析結果に基づく職場環境改善」と題し、職場環境改善を進める企業を外部から支援する心理職の立場から講演を行った。職場環境改善の流れは次のように行っている。

- ①担当者から相談を受け経営陣・社内への説得（手伝い）
- ②ストレスチェック結果の提供を受け

- ③組織分析の「分析」を行い、現状についてヒアリング
- ④コンサルティング資料作成
- ⑤参加者にコンサルティング
- ⑥参加者が目標作成（手伝い）

以前は①から⑥まで宮本氏らが包括的に策定していたが、最初から最後まで外部が行うことは難しく、結果半数程度の従業員にしか実行してもらえたかったことや、経営者や管理職の交代・異動により施策が頓挫したという問題点があった。それをふまえ④や⑥は社内が主幹となり外部はあくまで「手伝い」役になるというポイントが強調された。また③を行う際は「分析」だけでなく「見立て」も提供しており、それによって当事者の具体的なアクションにつながるとした。

次に、日野自動車㈱ 羽村工場工長の氷室剛志氏が「働きがい・やりがいを追求した職場環境改善システム」と題し、講演を行った。同社では「ポジティブな気持ちでないと効率も結果もよくない」という考え方から「働きがい向上」について活動を重ねている。「働きがい」、「YKK（やりにくい・気づかい・困りごと）」を聴き取ること、また「ほれんそうのおひたし」（報告・連絡・相談の際、「怒らない」「否定しない」「助ける」「指示する」こと^{注）}）の徹底により、2024年度は無災害を達成、健康指数が毎年向上し、ストレス指数改善にもつながったという。まずは上司の行動変容が肝要であり「現状維持は後戻りと同じ」として改革・改善を止めないことが重要と強調した。

最後に登壇した帰山氏は「製造ライン職場における全員参加を目指した職場環境改善」と題し、ストレス指数が特に高い製造ライン職場のサポート事例を紹介した。「いきいきワーク」というワークプログラムで、交替制勤務の中、全員参加必須という高い障壁に対し、グループ分けや工場内リモートなどの工夫を行い実現したという。当初、産業保健職からの支援に強い抵抗感が見られたが、ワーク前にアイスブレイクの雑談を行うことで場の雰囲気がよくなり、その後の議論も活発化し、結果、参加者の約8割が役に立つたと回答した。

会の参加者からは、紹介された数々の取組みをヒントにしたい・取り入れたい、また、現場から強い抵抗があっても改善をやり抜く姿勢に感嘆する声があがった。

注）マナー・コンサルタント西出ひろ子氏が提唱

- さんぽ会の詳細は下記サイトをご覧ください。
- ホームページ <https://sanpokai.net>
 - FBページ <http://www.facebook.com/sanpokai>